

リーディング大学院認定式 リーディング大学院生代表挨拶

本日は、私たちリーディング大学院生のために、このような認定式を開いて下さり、誠にありがとうございます。

マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムは、多角的な視点や手法で物質・材料を理解して、俯瞰的にその対象物質が置かれる状況を常に把握し、迅速かつ的確に社会のニーズに対応する能力を養うためのステージであり、将来産業界で活躍することを目指している私たちには貴重な機会であります。本年度は、12名の熱意ある学生が合格を果たし、4月から始まる研究生活への気持ちが高まっています。

本プログラムを履修する私たちは、広くしっかりと物質・材料科学の基礎を習得し、マルチプルな軸次元で物質を多視角的に捉える能力が期待されます。そのため、本プログラムが提供してくれるバリエーション豊かな授業を履修し、自分の研究分野のみならず、異分野の研究からも常に吸収する努力が欠かせないと思います。さらには、産学連携や、プログラム内もしくは海外インターンシップなど通常の大学院生には提供されないチャンスを生かし、最大限に幅広い視点と深い知識を身につけたいと考えています。5年間の研究経験を通し、それぞれの分野での、世界トップレベルの専門性と、多角的なマネジメント能力を身につけ、日本の産業界を牽引できるリーダーを目指します。

また、お互い違う専門分野の学生同士が切磋琢磨できることも、自己成長には重要であると考えています。この先の5年間では、たまには衝突しながらも、お互い協力し、支え合い、真の物質リーダーとなるべく成長していきます。

最後になりますが、プログラムコーディネーターの長坂先生をはじめ、プログラム運営にご尽力なされている方々に深く感謝し、代表挨拶とさせていただきます。

平成28年4月1日

マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム
張 幸夫（工学研究科 知能デバイス材料学専）